

日本バプテスト連盟 東日本大震災災害対策本部報告

2011年9月5日（全国発送）

この9月11日で、あの震災発生からちょうど六か月目を迎えます。これまで全国の諸教会の皆様のお祈りと募金への多大なご協力を心から感謝申し上げます。被災地では8月までにほとんどの方が仮設住宅に移り、支援活動も新たな段階に移行しました。連盟は8月に岩手県の遠野市にボランティア・センターを開設し、10月には専任スタッフを配置して、支援活動をこれからも継続してまいります。

今回は本部報告と共に東北の諸教会による被災地支援活動をニュースにてお届けいたします。

9月11日にもたれますそれぞれの教会の主日礼拝において、被災地とそこに建てられている教会を覚えて、ぜひお祈りをお願いいたします。

<祈りの課題>

- ・大震災から半年、癒えぬ悲しみや痛みの中で、疲れを覚えている一人ひとりの上に、主ご自身の慰めと支えとがあるように。
- ・福島原子力発電所の放射能飛散が少しでも改善され、特に子どもたちの命が守られるように。
- ・被災地に建てられている教会、連盟諸教会による支援活動が、「和解のつとめに仕える」ものとなるように。
- ・2011年度募金目標(1億3000万円に修正)の必要が満たされるように。

1. 活動理念

- (ア) 「和解のつとめに仕える」。神と人、人と人、人と全被造物における和解、福音における新しい交わりの創造に仕えていく。
- (イ) 被災地の痛み、悲しみ、苦悩のただ中に働いておられる十字架のキリストに目を注ぎつつ、被災地の人々と尊重し合い、学び合う関係を大切に、復活の命と希望を分かち合っていく。

2. 活動方針

- (ア) 「被災地にある教会」に連帯して立つ。
 - ① 被災地にある教会の痛み、喜び、労苦を共有していく。祈りあい、支えあう。
 - ② 教会が元気に宣教の働きに立てられていくための支援をする。
 - ③ 災害から問われている課題を学び合う。
- (イ) 「被災地にある教会を通して地域」を支援する。

被災地にある教会が、地域において「和解のつとめに仕える」(被災の痛みを分かち合い、心に寄り添いながら、新しい関係を紡いでいく) 関わりや働きを支援する。
- (ウ) 「地域」を直接支援する。
 - ① これまで連盟として関わりを持てずにきた三陸沿岸部、そこに住む人々との関わりを大切にしつつ、キリスト者としてなしうる支援をする。
 - ② 原発災害で目に見えない重荷を背負い歩んでいる人々に連帯し、特に子どもたちの命を支える。
 - ③ 預言者的使命を自覚し、政府や自治体、世界に発言していく。

3. 支援活動のこれまでとこれから

- (ア) 活動段階
 - ① 第一期(命を支える。震災後1ヶ月)…緊急支援。
 - ② 第二期(避難所生活を支える。震災後6か月)。
 - ③ 第三期(仮設住宅生活を支える、地域復興を支える。震災後最低5年～10年。原発課題は最低20年継続していく必要がある。)
- (イ) これからの支援活動
 - ① 被災地にある教会による地域支援
 - ② 遠野ボランティア・センター(専任スタッフを立てる)による地域支援
 - ①②とも、ゆっくり、じっくり、細く長く。自分たちに可能なペースで、キリスト者の私たちにできることを。仮設住宅から最後の方が出ていくまで。
 - ③ 原発課題への対応(子どもたちの命を守る)

- ④ 国内外のキリスト教教派・団体、また祈りを共にする団体との協働

(ウ) 活動見通し

- ① 上記①②については最低 5 年間、③については最低 20 年間の見通しで取り組む。
- ② 「遠野センターの専任スタッフ」は、遠野を拠点とした三陸沿岸部への支援活動（仮設住宅訪問など）のコーディネート、ボランティアの受け入れ（一緒に聖書を読み祈る、チャプレンとしての働き）を担う。

4. 地域支援

- (ア) 遠野ボランティア・センター…簡易シャワー設置やトイレ改修を行い、8月第一週よりボランティア受け入れ、活動開始。宿泊 20 名。専任スタッフが 10 月中旬に赴任予定。それまでは管理者として、金子千嘉世さん（宮崎丸山町教会牧師）や澤田二穂さん（帯広教会協力牧師）などを交替で派遣する。
- (イ) キッチンカー（予算 350 万円）「なごみカフェ」（女性連合と協働。9 月に遠野に配備）…仮設住宅を巡回し「移動式カフェ」（足湯などとの組み合わせ）を展開したい。遠野専任スタッフが実施責任を負い、現地の各教会による仮設住宅支援にも用いていく。
- (ウ) 支援活動用ワゴン車の配備（献品 4 台、中古車 1 1 台）
 - ① 鮫、小松ヶ丘、盛岡、郡山、仙台、連盟事務所…ワゴン車 7 台、軽ワゴン 1 台。
 - ② 遠野センター…ワゴン車 1 台、ハイエース 1 台、軽トラック 1 台。
 - ③ 給分浜・荻浜（避難所など）…ワゴン車 1 台、軽トラ 2 台、軽 1 台。
- (エ) ベイラー大学の物資整理（7 月）…仙台と遠野へ輸送し、仮設住宅へ。

5. 被災地教会支援／支援活動支援

- (ア) 被災地教会牧師への特別休暇支援
 - ① 特別休暇費用の支援…各牧師家庭、年度中 1 回。
 - ② 説教支援、教会活動支援（奉仕者の派遣）…年度内に複数回。
- (イ) 教会建物補修支援
福島旭町（フェンス工事）、日立（屋根、樋、壁補修）。※郡山は補修工事待ち。
- (ウ) 放射能飛散被害の教会支援
 - ① 子ども支援…放射能飛散地域からの避難支援（教会学校などの費用サポート。バス代など）。福島旭町。
 - ② 子ども向け室内ゲームやDVD寄贈…4教会より寄贈。
 - ③ クーラー設置支援…礼拝堂、集会室、牧師室など。福島旭町、あゆみの家、郡山コスモス通り。
- (エ) 「命のうたデュオ・コンサート」…谷本牧師（ヴァイオリン）、中島由紀子さん（ピアノ）。同盟錦織教会（8月15日）、南光台教会（16日）。本部主催。
- (オ) 現地支援委員会を通して支援活動サポート ※別紙ニュース参照
青森・岩手チーム／宮城チーム／福島チーム
- (カ) 被災教会員へのお見舞いは継続検討中（教会員の中に直接被災された方はいないが、原発被害による避難、移住などをどう考えていくか検討が必要）。
- (キ) 盛岡宿舎…7月中旬より使用。ボランティアの中継地点。現時点では専任スタッフ住居が遠野市内に確保困難なため、バックアップとして確保。

6. 原発課題対応

- (ア) ベクレルモニター（食品計測可能）の発注（予算 270 万円）。9 月頃に入荷。連盟事務所管理。被災地教会（幼稚園）の要請に応じて使用。
- (イ) 簡易型ガイガーカウンター（5 万円程度）については、原発から 100 キロ圏内の被災地教会に配備。その他、首都圏の幼稚園等でニードがあり 2 台追加配備（宣研管理）。
- (ウ) 「夏休み子ども疎開プロジェクト」（原子力行政を問い直す宗教者の会）への賛同（献金）。
- (エ) 「NCC 脱原発フォーラム」への賛同。

7. 女性連合との協働

女性連合「あいあいプロジェクト」（「あい」はキリストの愛、「あい」は出会いの会い）…

各教会による仮設住宅支援に協働する。具体的には「なごみカフェ」の開設や手もみなどを通して出会いと交流の場をつくり、仮設住宅の関係づくりをサポートし、「語り合い」、「傾聴」による支え合いを目指す。

8. 宣教団・同盟・沖縄との協働

- (ア) 宣教団の遠野拠点での活動。米国からのチームが交替で入ってきており、仮設住宅支援などで協働している。
- (イ) 三バプテスト（同盟・沖縄）の毎年の定例協議（11月末）を今年は秋保温泉で開催し、被災地の牧師（家族）を無料で招待し、交流のときを持つ。

9. 海外との協働

- (ア) BWA（世界バプテスト連盟）評議員会（マレーシア）での報告
 - ① APBF（アジア太平洋）の集会、BWA全体の Forum で報告、発題。
 - ② 特に原発課題について、継続的に報告し神学的考察を重ねていく責務を確認。
 - ③ 海外グループからの協力の申し出

9月30日～10月1日・・・連盟事務所にて円卓会議。今後5年間の活動見通しを話し合う。9月27日～29日：3日間の被災地視察。
- (イ) テキサス州連盟の災害対策チーム
遠野まごころネットより「まごころの郷（さと）」集会所建設の要請（費用2000万円：テキサス州負担）。候補地がまだ決まらないため8月中旬予定の来日を延期。

10. 全国発信

- (ア) 5月9日報告集会のDVD作成。テープ起し作業中。
- (イ) ホームページによる継続的発信。

11. 本部

- (ア) 事務：塩川貴恵さん（浦和）週5日。9月15日で会計事務（週2日）の前田直子さん（西川口）の働きを終了し、塩川さんが事務・会計兼務となる。
- (イ) ボランティア担当：大城戸一彦さん（西川口）週4日。遠野ボランティアの後方支援。
- (ウ) 国外対応スタッフ：松永九実子さん（目白ヶ丘）海外バプテストの9月末被災地視察（9月27日～29日）、円卓会議（9月3日～10月1日）の準備を担当。期間限定で。
- (エ) 遠野専任スタッフ・・・連盟の牧師に内諾。10月第一週に着任予定。教会総会の辞任承認を経て氏名公表。
<スタッフの役割> 2～3年程度の見通しで働いていただく
 - ① 遠野ボランティア・センターの管理、ボランティア受け入れ（一緒に聖書を読む）。「チャプレン」としての働きを第一とする。
 - ② 三陸沿岸部の復興支援活動の模索（青森・岩手チームとの協力）。津波被災地（これまで連盟の教会が関わりを持ってこなかった地域）の課題に聴きながら、今後の「教会」（キリストの体）としての働きの展開の可能性を考えていく。
 - ③ 宮城チーム、福島チーム、各教会の支援活動のフォロー。
 - ④ 全国への発信。

12. 会計

- (ア) 2011年度募金目標額の変更
 - ① 連盟理事会はこの4月に募金目標5000万円の予算を立てて活動してきたが、9月開催の第2回理事会で2011年度の募金目標額を1億3000万円に修正した。
 - ② 2011年度の活動予算は約8000万円とし、2012～13年度の活動予算を各4000万円（募金目標2000万円）とする向こう3年間の活動計画案をまとめ、定期総会に提案することにした。
- (イ) 募金状況（8/25現在） 111,261,615円（海外50,690,922円）
※クレジットでの募金開始（7月より） 以上。

	8/22 執行済	今後の予定	今年度予算
被災地教会支援			14,200,000
建物補修(福島旭町、日立、郡山コスモス通)	2,396,880	4,603,120	7,000,000
クーラー設置支援(放射能被災のため)	142,125	857,875	1,000,000
ガイガーカウンター	1,990,520	1,309,480	3,300,000
放射能被害子ども支援	250,000	750,000	1,000,000
被災地教会お見舞い(東北連合18・茨城3)	2,100,000		2,100,000
牧師特別休養支援	520,000	1,480,000	2,000,000
被災地教会活動支援			18,600,000
支援用自動車(購入費・保守費含む)15台	10,809,895	690,105	11,500,000
現地支援委員会仮払い	5,000,000		5,000,000
仮払い(被災地教会、地方連合)	2,100,000		2,100,000
被災地支援			28,600,000
救援/支援物資・清掃・修理活動	10,542,523	4,457,477	15,000,000
輸送費	689,943	310,057	1,000,000
遠野センター家賃・整備・備品	4,455,026	544,974	5,000,000
遠野センター活動費	66,865	2,933,135	3,000,000
移動販売車購入・維持		4,000,000	4,000,000
盛岡宿舍家賃・維持	281,092	318,908	600,000
本部活動			12,600,000
事務スタッフ・現地スタッフ	1,779,802	7,220,198	9,000,000
事務・活動・会議費	1,178,732	821,268	2,000,000
神学的考察・研修費	83,410	916,590	1,000,000
予備費		600,000	600,000
海外・他団体との協働			2,800,000
海外会議・受け入れ(通訳・被災地視察含む)	660,056	639,944	1,300,000
三バプテスト牧師会		1,500,000	1,500,000
合計	45,046,869	33,953,131	79,000,000

災害対策の働きと担当責任 (9月2日版)

